



千葉県
松井歯科医院
松井 亮二
先生

今回のアイテム

コンストラクトキット／動揺歯固定リボン

白い保定装置で目立たない。プラスチック処理され操作性が向上

矯正装置を装着時の患者さんのストレスは私達、歯科医師が想像している以上に大きな

ストレスを感じており、年齢に関係なく、患者さんからの審美的要求が年々強くなっているように思える。

患者さんは矯正装置を装着した日から、1日も早く装置を外した

いと思っっているのである。

やっと動的治療が終了し装置を外しても、クラスプ線を利用したローレータイプのリテーナーなどで長期間、保定治療があるので、患者さんを説得するのが実に苦労しているのが現実で、リテーナーを装着してくれない患者さ

んも少なくなく、後戻りなどで患者さんとトラブルになるケースは他の先生方もご経験があるのではないかと思います。

当医院ではバンドスペースなどある場合は、リテーナーを使い空隙閉鎖した後に、フアイバーリボン（コンストラクト）使用して

いる。

コンストラクトリボンの厚みは0.2mmと大変薄く、保定後のプラークコントロールも容易であるというメリットもあるが、患者さんの思いは「白い保定」で目立たないのが何より嬉しいのである。現在、プラスチック処理され手で触れることも

可能になった「コンストラクト」は操作性が格段に向上している。「動揺歯の固定」「矯正保定」「技工用ハイブリットレジンと併用したメタルレスのブリッジ、クラウンの補強」など色々な分野で応用しているが、更に日々の臨床での応用をご紹介できたらと考えている。

準備



アルミホイール、デンタルテープなどを用いて、コンタクト部位辺りに歯面に沿わせるようにしてリボンの長さを決める。

セット



歯面に処理後、準備されたコンストラクトリボンを歯に沿わせるようにセット。隣在歯の重合収縮を緩和したい為、セメントスパチュラなどで隣接面に当て、1歯ずつ光重合をする。再度、リボン表面を滑沢するためリボンの表面にフロアアールレジンを薄く塗布、重合、研磨を行う事で舌感が良くなる。

リコール



数か月後、歯ブラシなどでフロアアールレジンが摩耗時には、リコールをしてリボン表面をリン酸→水洗→ボンディング→フロアアールレジン→光重合→研磨

ディボンディング



リボンの左右どちらかの端にリボン表面をカーバイドバー等で軽く削り、止血鉗子で巻き取るようにディボンディングする。